

2024年3月6日
一般社団法人Jミルク

牛乳広告の制作通し、子どもの考える力を育む！ 「土日ミルク」教材の提供を開始

Jミルクは、「学校給食がない日も牛乳を飲もう」をテーマに小中学生を主な対象に行っている取り組み「土日ミルク」の一環として、小学校の授業で活用できる教育プログラム「土日ミルク なりきり広告クリエイター」を開発し、その教材の提供を始めました。

土日ミルク



身近にある牛乳を題材として、授業の中で、子どもたちに広告（ポスター）を制作してもらうプログラムです。教科の枠を超え、広告制作というクリエイティブな体験から、子どもたちが相手に伝えるための工夫を考える過程や制作の楽しさを分かち合い、考える力や表現力を育むことができます。藤本勇二・武庫川女子大学准教授や野口大介・兵庫県西宮市立鳴尾小学校教諭らのご協力を得て開発しました。



実際の授業は、今回提供する教材を使い、まずJミルクからの「みんなに『土日ミルク』の広告をつくってほしい」という依頼で始まります。子どもたちは依頼を受けた広告クリエイターになりきって、家族たちの心に届く言葉（キャッチコピー）やイラスト表現を考えてポスターを作ります。さらに、家庭内で保護者の目にとまるような掲示場所も考え、実際に家庭に持ち帰って効果を検証してみるといった授業外での活動も行えます。

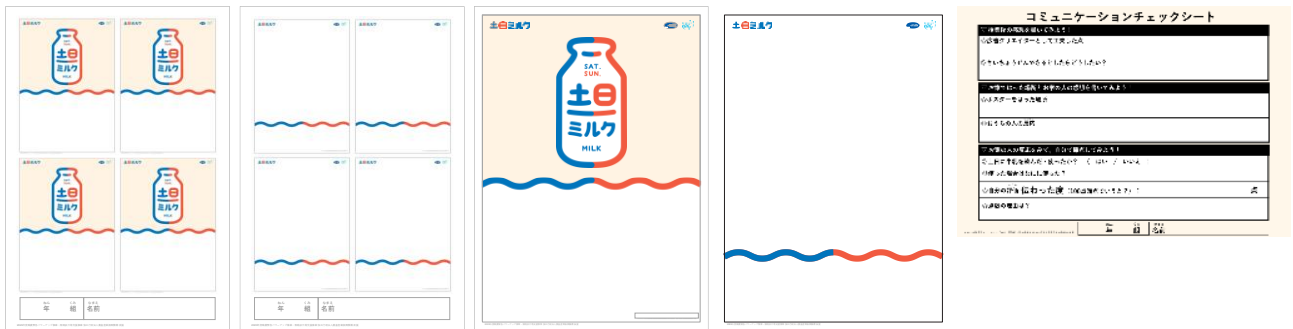
教材は、児童用の他、教師用資料（指導案）、授業中の投影資料、ワークシートなどがあります。「土日ミルク」特設サイト内に「なりきり広告クリエイター」専用ページを設け、教材データがダウンロードできます。なお、2023年12月から一部の小学校（全国23校・児童1,540名）で、この教材を使い先行して授業が実施されています。

【「土日ミルク なりきり広告クリエイター」概要】

- ・ 主な対象学年：小学校 3～5 年生（他の学年でもご活用いただけます）
- ・ 対象科目：国語、図工、総合的な学習の時間、学級活動など
- ・ 所要時間：1 コマ版（45 分間）または 2 コマ版（45 分間×2）
- ・ その他：出張授業ではありません。教材を提供するものです。
- ・ WEB サイト：<https://donichi-milk.jp/enjoying/school>

【教材見本】※上記 WEB サイトからダウンロードできます。

- ・ 児童用：ワークシート（下書き・正書用 各 2 種）、コミュニケーションチェックシート



- ・ 教師用：指導案、投影スライド（2 種）、ことばのヒントカード、参考情報



【開発協力者】

教材制作に当たっては、下記の方々にご協力いただきました。



藤本勇二先生（武庫川女子大学准教授）※以下コメント

本プログラムを通して、子どもたちが言葉を選び、表現を工夫する過程で一人ひとりのよさや学び方の強みを発揮することができます。個別最適な学びと協働的な学びを実現しているプログラムです。クリエイターになって広告を作るという活動は、キャリア教育の視点からも大事です。さらに昨今注目されている STEAM 教育としても大きな意味を持っています。優れたプログラムには汎用性があります。「土日ミルク」のテーマは、健康課題につながる日常的で具体的な内容ですから、なりきり広告クリエイターにぴったりといえます。さらにこの様式をもとに他の食材を取り上げて、食育実践を展開していくことができます。先生方にとってもプログラムの勘所をつかむためにぜひ実践していただきたいと思います。



野口大介先生（西宮市立鳴尾小学校教諭／当該授業実施校） ※以下コメント
子どもたちが楽しそうに活動している姿が印象的でした。毎日の生活の中にある「牛乳」という題材をもとに、「依頼される」という設定が、子どもたちを自然と考えることへと引き込んでいきます。明確なゴールがあるので、お家の人の行動を変えるために一生懸命メッセージを考えていました。メッセージは、プロからのヒントや友達との対話を通してさらにみがかれていきました。自分の思いを伝えるためにいちばんいい方法を追求していく、そんな子どもたちの姿を見ることができました。



佐藤ねじさん（プランナー／アートディレクター） ※以下コメント

探究学習は「お題選び」がとても重要だと思っています。子どもがやりたい！と積極的に思えるような、お題の振り方。牛乳というなじみあるテーマで、「自分の親に向けて、プレゼンするためにポスターをつくろう！」というのは、面白い授業だなと思います。ふつうの勉強には正解がありますが、デザインは広告には正解がありません。「相手に伝われば何でもOK」というもの。その視点が授業を通して、少しでも伝わればと思います。

一般社団法人Jミルク

酪農・乳業・牛乳販売の各関係団体や企業、個人などが会員となり、生乳や牛乳・乳製品の需給安定のための調査分析や情報発信、健康栄養面をはじめ酪農乳業界が持つ多様な価値の理解促進につながる情報や科学的エビデンスの収集・提供、国際機関との連携などを行っています。

▶ 公式WEBサイト：<https://www.j-milk.jp/>

「土日ミルク」

学校給食がない日は、ある日に比べ、子どもたちのカルシウムをはじめとする栄養素の不足が顕著であることから、学校給食がない日でも子どもたちに楽しく牛乳を飲みたい・乳製品をとりたいたいと思ってもらえる意識づくりや環境づくり促すために実施している取り組みです。

▶ 公式WEBサイト：<https://donichi-milk.jp/>

「牛乳でスマイルプロジェクト」

「土日ミルク」は、農林水産省とJミルクが2022年6月に牛乳・乳製品の消費拡大を官民挙げた取り組みとして推進することを目的に立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」の一環として実施しています。



▶ 詳細はこちらから：https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/gyunyu_smile.html

※本リリースは農政クラブ、農林記者会、文部科学記者会に提供しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人Jミルク
コミュニケーショングループ
東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル5階
電話：03-5577-7494